

「Windows Autopilot」と「RTP+」の組合せで
完全セルフサービス型のPC導入が可能に

短期間の内に大量PCの リプレースを可能にした Lenovoのソリューション

USER PROFILE

UCCホールディングス株式会社

本社：兵庫県神戸市中央区港島中町7丁目7番7
設立：1933年5月1日
従業員数：6,000名

課題

全国各所で利用されている大量のWindows 7 PCを短期間のうちにWindows 10 PCへと入れ替える必要があった。

ソリューション

マイクロソフトの「Windows Autopilot」とLenovoの独自サービス「RTP+」を組み合わせた先進的なPC展開方式を採用。

導入効果

Lenovoの全面支援の下、短期間の内に大量のWindows 10 PCを導入して働き方改革やセキュリティ対策強化の基盤を確立。

コーヒー関連事業で広く知られるUCCホールディングスでは、働き方改革を促進するためにITを活用した情報活用基盤の整備や、情報セキュリティ対策の強化を進めてきたが、従来通りのPC導入プロセスでは期限に間に合いそうになかった。そこでLenovoとともに、「Windows Autopilot」を使ったセルフサービス型のPC展

開手法にチャレンジ。新たに採用した2000台の「ThinkPad X390」を短期間の内に、かつ運用管理担当者の手を煩わせることなくスムーズに導入することに成功した。



Autopilotの仕組みそのものをきちんと取り扱え、 期限内に2000台のPCを実際に展開できるという要件において、 Lenovoさんの提案は最も信頼度が高いと判断しました。

UCCホールディングス株式会社
執行役員CISO
黒澤 俊夫 氏

Lenovo

働き方改革の実現を拒む大量のWindows 7 PC

コーヒー事業や食品卸事業、マシン事業、外食事業などを中心に、グループ会社77社、従業員数6000人以上を抱えるUCCグループ。その中核に位置する持株会社として、グループ全体を統括するのがUCCホールディングス株式会社(以下、UCCホールディングス)だ。UCCブランドはコーヒー関連商品やカフェ店舗、コーヒーマシン製品などで一般消費者の間ですっかりおなじみだが、近年では国内のみならず海外においても積極的に事業を展開しており、欧州、アジア、北南米に多くの関連会社や拠点を構える。

そんな同社は現在、執行役員CISOでUCCグループ全体のITを統括している黒澤俊夫氏を中心に、全社一丸となってITの積極活用による働き方改革を推し進めている。

「2020年7月に予定されていた東京オリンピック・パラリンピックに向けて、多くの企業が働き方改革を検討していた中、弊社も『あらためて自社のワークスタイルを見直すべきではないか』との指摘が経営陣から出ていました。また私自身も2019年9月にUCCホールディングスに入社して早々、社内のIT活用が遅れていることを痛感したため、すぐにITによる働き方改革に着手することにしました」(黒澤氏)。

まずは、社内の情報共有やデータ活用促進のためのコミュニケーション基盤を確立するために、Microsoft 365を導入することにした。また社員が場所を選ばず柔軟な働き方を選択でき、かつ業務生産性を高められるよう、モバイルワーク環境とそれにふさわしいセキュリティ対策の導入も決めた。

しかし、この時点で既にWindows 7のサポート期間終了が迫っており、またMicrosoft 365や最新のゼロトラストセキュリティ技術を採用する上でも、古いクライアントOSは足かせになりかねなかった。さらには、2020年7月の東京オリンピック・パラリンピック開催までには、リモートワーク環境を一通り整備する必要がある。

こうした時間的な制約がある中、Windows 7 PCを短期間の内にすべてWindows 10 PCへと入れ替え、かつMicrosoft 365や最新のセキュリティ製品を導入するには、通常のPC導入プロセスでは到底間に合いそうになかった。

「それまではPCを新たに導入する際には、カスタマーエンジニアが全国のグループ会社や拠点の現場へと直接出向き、1台につき3~4時間ほどかけてPCのセッティング作業を行っていました。今回入れ替える2000台のPCすべてでこれと同じことをやっていると、スピード感のある導入は到底無理でした」(黒澤氏)。

「Windows Autopilot」を用いて大量のPCを 短期間のうちにリプレース

そんな折、マイクロソフトから紹介を受けたのが「Windows Autopilot」(以下、Autopilot)だった。これはマイクロソフトが開発・提供するサービスで、PCをネットワークに接続すれば自動的に設定情報やアプリケーションがダウンロード・インストールできるというもの。PCのエンドユーザーが自ら導入・設定作業を行えるため、PCの新規導入時や交換時に掛かる運用管理者の負担を低く抑えられる。

「このサービスを使えば、短期間のうちに大量のWindows 10 PCを全国の拠点に展開できるに違いない」。そう考えた同社は、早速複数のベンダーにAutopilotを使ったPCリプレースの提案を依頼した。何社かの大手メーカーがこれに応じたが、その中でも最も魅力的だったのがLenovoの提案だったという。

「まずはAutopilotの仕組みそのものをきちんと取り扱えること。さらに、Autopilotを使って期限内に2000台のPCを実際に展開できること。この2点について各社の提案を比較評価しましたが、Lenovoさんの提案はその中でも最も信頼度が高いと判断しました。また導入後のサポート体制についても、最も充実していると感じました」(黒澤氏)。

まだ日本国内では採用例が少ないAutopilotだが、Lenovoは既に海外で利用実績があり、かつAutopilotを補完する独自サービスも持っており、PCの導入、展開、サポートの一連のプロセスをすべてワンストップでカバーできる点を高く評価したという。

こうしてLenovoのソリューションの採用を正式に決めた同社は、早速PCのリプレースプロジェクトを立ち上げた。今回新たに導入するWindows 10 PCとしては、Lenovoの13.3型ノートPC「ThinkPad X390」を採用した。当初は「ハイエンド用」「ミドルクラス用」「ベーシック用」の3機種を導入する予定だったが、機種が多くなればなるほど運用保守の手間も増えてしまうため、運用効率を重視して1機種に統一することにしたという。

「ThinkPad X390は、私たちが必須条件として挙げていた『モバイルワークのためのLTE機能』『軽量で使いやすいこと』『長時間の稼働』といった条件をすべてクリアしていた上、デザインや手に取ったときの感触も非常に評価が高かったですね。上位機種の採用も検討したのですが、すべての用途を1機種でまかなうことを考えると、ThinkPad X390が最もバランスが優れていると判断しました」。

今回のPCリプレースプロジェクトを担当した株式会社ユーコット・インフォテクノ システムサポート部 兼 業務改革室 部長 梅垣陽一氏は、



カスタマーエンジニアやヘルプデスク担当者に
掛かる負荷は激減しました。
また、自身の都合に合わせて導入作業ができるので、
エンドユーザーにもとても評判がいいですね。

株式会社ユーコット・インフォテクノ
システムサポート部(兼)業務改革室
部長
梅垣 陽一 氏

最終的にThinkPad X390を採用した理由をこのように語る。実際に利用するユーザーからの評判も上々で、「この機種を選んでくれてありがとう」という感謝の声も幾つか届いているという。

PCの導入・保守に要する手間と時間を大幅に削減

Autopilotを使ったThinkPad X390の展開は、従来のやり方と比べるとはるかにスムーズに運んだ。エンドユーザーのもとに送り届けられたPCをネットワークにつないでログインすると、自動的にそのユーザー用のグループポリシーとアプリケーションがネットワークからダウンロードされ、あらかじめ決められた手順に沿って最低限の設定情報を入力するだけでPCの初期導入作業はすべて完了する。

ユーザー自身でほぼすべての導入作業を行うことができ、カスタマーエンジニアがわざわざ現地に出向く必要がなくなったため、PCの展開・導入に必要な手間やコスト、時間を大幅に節約できるようになったと梅垣氏は語る。

「カスタマーエンジニアやヘルプデスク担当者に掛かる負荷は激減しました。また現地で導入作業のスケジュールを調整する必要がなくなり、展開にかかる期間を大幅に圧縮できたとともに、現場のエンドユーザーにとっても自身の業務の都合に合わせて導入作業を行えるようになりとても評判がいいですね」。

ただし、一部の大容量アプリケーションに関しては、Autopilotを使ってユーザーが一斉にダウンロードするとネットワークに多大な負荷が掛かってしまうため、何らかの対策を講じる必要があった。そこで大きな効果を発揮したのが、Lenovoが独自に提供する「RTP+」と呼ばれるサービスだった。これは、あらかじめLenovoの工場ですべてOSやデバイスドライバ

とともにアプリケーション(最大5つまで)をあらかじめPCにセットアップした上で出荷するというサービス。今回のプロジェクトではこのRTP+を使い、PCにあらかじめOfficeアプリケーションとセキュリティソフトウェアをセットアップした状態で現場のユーザーに送り届けることにした。

「PCのリプレースと同時に社内ネットワークの再構築作業を行っていたこともあり、Officeアプリケーションの一斉ダウンロードでネットワークがパンクしてしまうことを危惧していました。しかしLenovoさんのRTP+を使うことであらかじめ重いアプリケーションをセットアップした状態で出荷してもらえたため、ユーザーがAutopilotでダウンロードするアプリケーションは最小限で済み、ネットワークに過度な負担が掛かることもありませんでした」(黒澤氏)。

こうして無事Windows 7 PCをすべてWindows 10 PCへとリプレースし、同時にMicrosoft 365や新たなセキュリティ製品の導入で新たな働き方への第一歩を踏み出したUCCホールディングス。今後もAutopilotの機能を活用してPCの導入・メンテナンス作業を効率化するとともに、今後は国内だけでなく海外拠点にも同じ仕組みを積極的に適用していきたいと黒澤氏は抱負を語る。

「今後は、海外拠点も含めたグローバルレベルでのITオペレーション標準化を進めていきたいと考えています。その点Lenovoさんはグローバルカンパニーですから、ぜひ海外における弊社の取り組みも引き続き支援していただければと思います。またこれから、外部のお客様に対してタブレット端末を使ったソリューションを提供していく予定もありますから、PCだけに限らずこうした案件でもぜひ先進的な提案をいただければありがたいですね」(黒澤氏)。

お電話やメールでのお問い合わせはこちら!

法人のお客様向け
見積依頼・ご購入
相談窓口

0120-68-6200

受付時間:月曜日から金曜日9時から17時30分
(祝日および年末年始休業日を除く)

PC製品  direct01_jp@lenovo.com

サーバー製品  Tech_ISR@lenovo.com

Lenovo、レノボ、レノボロゴ、ThinkCentre、ThinkPad、ThinkStation、ThinkServer、New World New Thinking、ThinkVantage、ThinkVision、ThinkPlus、TrackPoint、Rescue and Recovery、UltraNav は、Lenovo Corporation の商標。Microsoft、Windows、Windows ロゴ、Windows Vista start button、Windows Aero、Windows BitLocker、Windows HotStart、Windows Live、Windows Media、Windows ReadyBoost、Windows ReadyDrive、Windows Server、Windows SideShow、Windows SuperFetch、Windows Vista、DirectX、Internet Explorer、Xbox 360、Excel、InfoPath、OneNote、Outlook、PowerPoint、Visio、Office ロゴ、IntelliMouse は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Intel、インテル、Intel ロゴ、Ultrabook、Celeron、Celeron Inside、Core Inside、Intel Atom、Intel Atom Inside、Intel Core、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel vPro、Itanium、Itanium Inside、Pentium、Pentium Inside、vPro Inside、Xeon、Xeon Phi、Xeon Inside、Intel Optane は、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。他の会社名、製品名、サービス名等は、それぞれ各社の商標または登録商標。

Lenovo

レノボ・ジャパン合同会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX

 <https://www.lenovo.com/jp/ja/pc>